

当院の院内がん登録

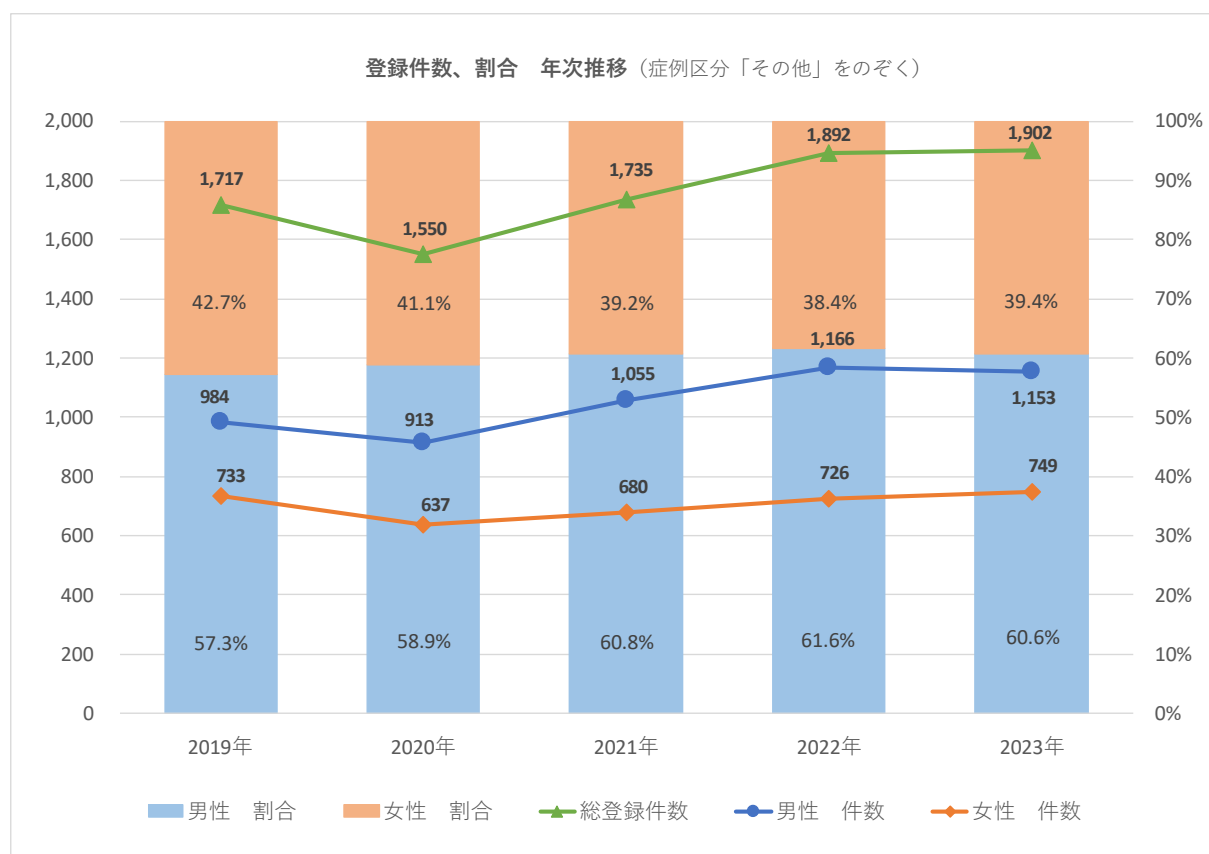
当院にて登録した 2023 年症例院内がん登録の集計結果になります。

登録、集計の条件については[「登録方法と登録対象について」](#)を参照ください。

1.登録数の推移

1-1.登録数の年次推移（2019 年～2023 年）

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
総登録数	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	1,744		1,581		1,766		1,936		1,948	
男性	1,000	(57.3%)	938	(59.3%)	1,077	(61.0%)	1,187	(61.3%)	1,182	(60.7%)
女性	744	(42.7%)	643	(40.7%)	689	(39.0%)	749	(38.7%)	766	(39.3%)
症例区分「その他」のぞく	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	1,717		1,550		1,735		1,892		1,902	
男性	984	(57.3%)	913	(58.9%)	1,055	(60.8%)	1,166	(61.6%)	1,153	(60.6%)
女性	733	(42.7%)	637	(41.1%)	680	(39.2%)	726	(38.4%)	749	(39.4%)

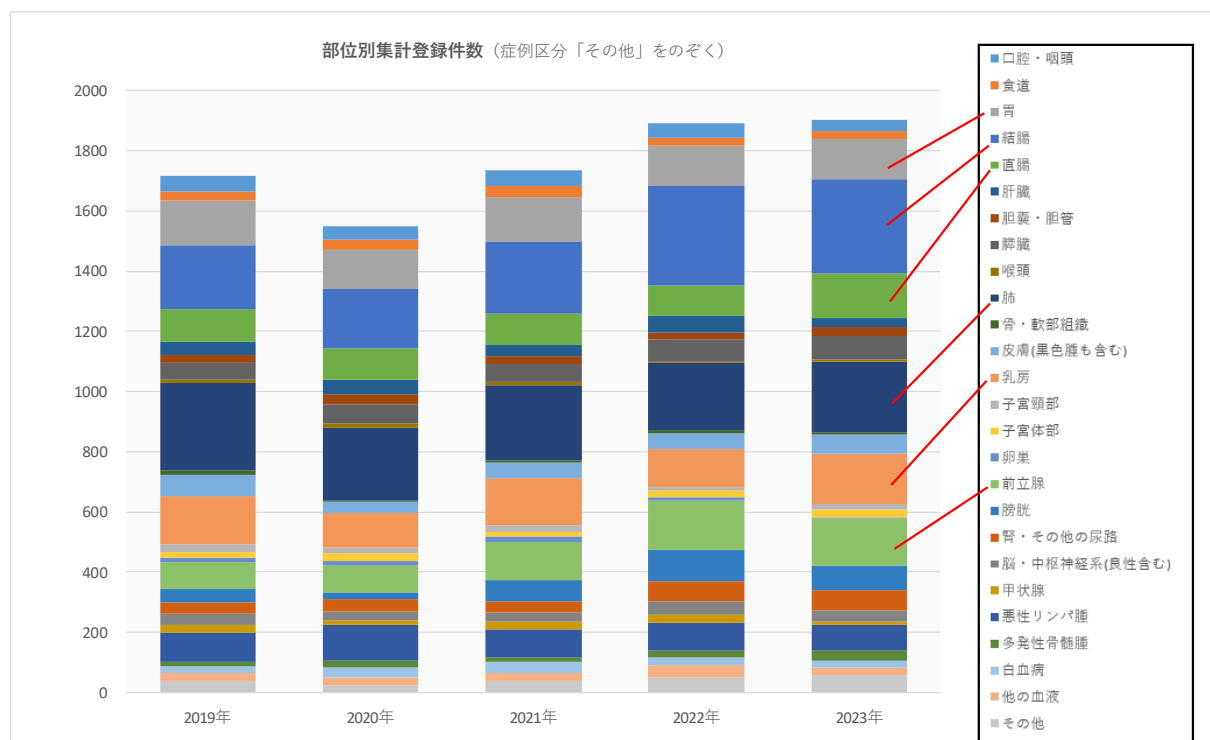


コロナ禍にて登録件数の減少があったが、徐々に増加傾向にある。

※症例区分「その他」について：症例区分は院内がん登録の項目で、当該腫瘍の診断および初回治療の過程に関係したかを登録します。「その他」は当院で受診したが診断、初回治療を行っていない場合に該当します。詳しくは[「登録方法と登録対象について」](#)を参考にしてください。

1-2.部位別登録件数（2019 年～2023 年）

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2023年前年差
部位	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数
口腔・咽頭	53	(3.1%)	46	(3.0%)	53	(3.1%)	47	(2.5%)	36	(1.9%)	-11
食道	31	(1.8%)	33	(2.1%)	36	(2.1%)	28	(1.5%)	28	(1.5%)	0
胃	148	(8.6%)	130	(8.4%)	150	(8.6%)	135	(7.1%)	134	(7.0%)	-1
大腸（結腸・直腸）	320	(18.6%)	301	(19.4%)	345	(19.9%)	432	(22.8%)	460	(24.2%)	28
結腸	211	(12.3%)	199	(12.8%)	236	(13.6%)	331	(17.5%)	311	(16.4%)	-20
直腸	109	(6.3%)	102	(6.6%)	107	(6.2%)	101	(5.3%)	149	(7.8%)	48
肝臓	42	(2.4%)	50	(3.2%)	36	(2.1%)	53	(2.8%)	29	(1.5%)	-24
胆嚢・胆管	29	(1.7%)	31	(2.0%)	26	(1.5%)	22	(1.2%)	32	(1.7%)	10
膵臓	56	(3.3%)	66	(4.3%)	59	(3.4%)	75	(4.0%)	76	(4.0%)	1
喉頭	10	(0.6%)	14	(0.9%)	10	(0.6%)	(4-6)		(7-9)		
肺	291	(16.9%)	241	(15.5%)	250	(14.4%)	222	(11.7%)	236	(12.4%)	14
骨・軟部組織	14	(0.8%)	(4-6)		(7-9)		14	(0.7%)	(7-9)		
皮膚(黒色腫も含む)	71	(4.1%)	35	(2.3%)	51	(2.9%)	51	(2.7%)	63	(3.3%)	12
乳房	161	(9.4%)	115	(7.4%)	159	(9.2%)	126	(6.7%)	165	(8.7%)	39
子宮頸部	23	(1.3%)	18	(1.2%)	19	(1.1%)	10	(0.5%)	19	(1.0%)	9
子宮体部	19	(1.1%)	27	(1.7%)	17	(1.0%)	24	(1.3%)	26	(1.4%)	2
卵巣	17	(1.0%)	17	(1.1%)	18	(1.0%)	(7-9)		(4-6)		
前立腺	89	(5.2%)	88	(5.7%)	126	(7.3%)	167	(8.8%)	154	(8.1%)	-13
膀胱	43	(2.5%)	21	(1.4%)	71	(4.1%)	101	(5.3%)	85	(4.5%)	-16
腎・その他の尿路	38	(2.2%)	41	(2.6%)	38	(2.2%)	68	(3.6%)	66	(3.5%)	-2
脳・中枢神経系(良性含む)	39	(2.3%)	31	(2.0%)	30	(1.7%)	44	(2.3%)	38	(2.0%)	-6
甲状腺	26	(1.5%)	16	(1.0%)	24	(1.4%)	28	(1.5%)	11	(0.6%)	-17
悪性リンパ腫	94	(5.5%)	119	(7.7%)	93	(5.4%)	93	(4.9%)	85	(4.5%)	-8
多発性骨髄腫	17	(1.0%)	22	(1.4%)	18	(1.0%)	22	(1.2%)	31	(1.6%)	9
白血病	21	(1.2%)	32	(2.1%)	34	(2.0%)	25	(1.3%)	25	(1.3%)	0
他の血液	26	(1.5%)	25	(1.6%)	28	(1.6%)	40	(2.1%)	25	(1.3%)	-15
その他	39	(2.3%)	25	(1.6%)	38	(2.2%)	51	(2.7%)	57	(3.0%)	6
合計	1,717		1,550		1,735		1,892		1,902		10

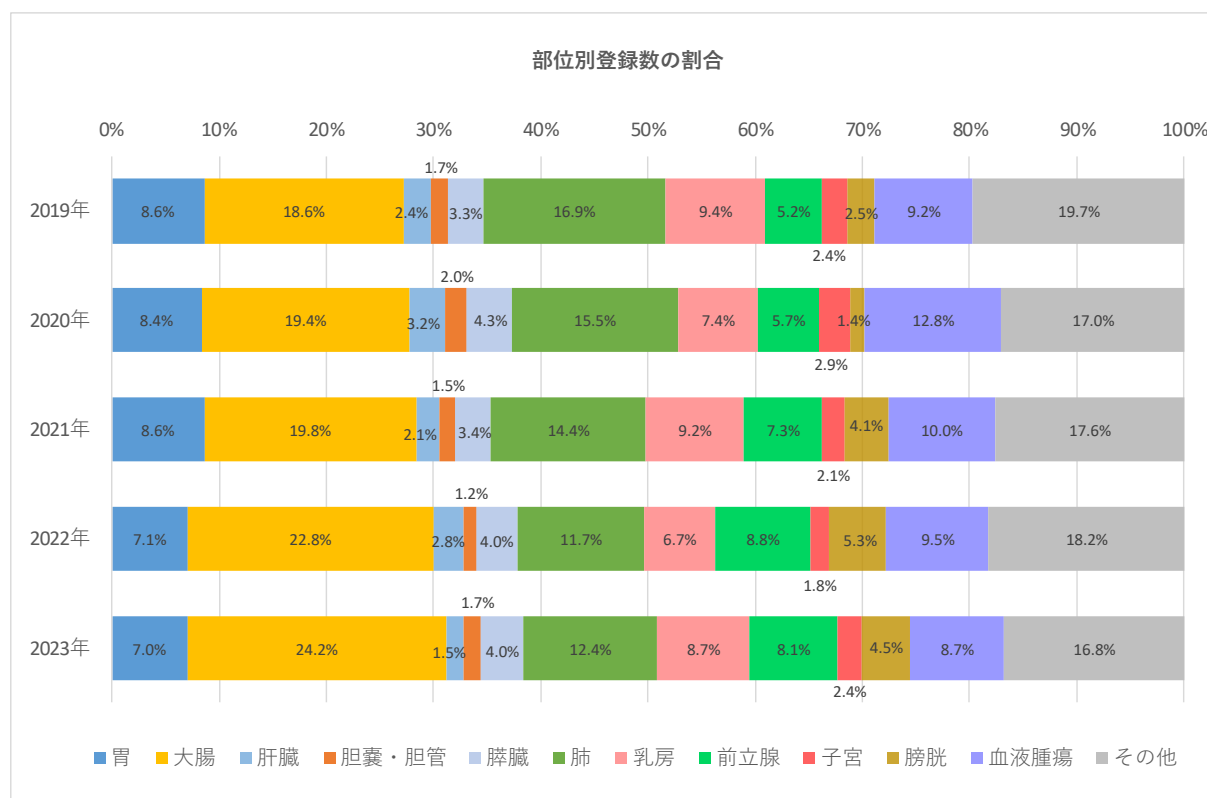


2023 年の部位別登録件数の上位 5 部位は、大腸、肺、乳房、胃、前立腺。

大腸がんの中でも、直腸がんの件数が増加した。

参考：国立がん研究センターホームページ [がん統計 年次推移](#)

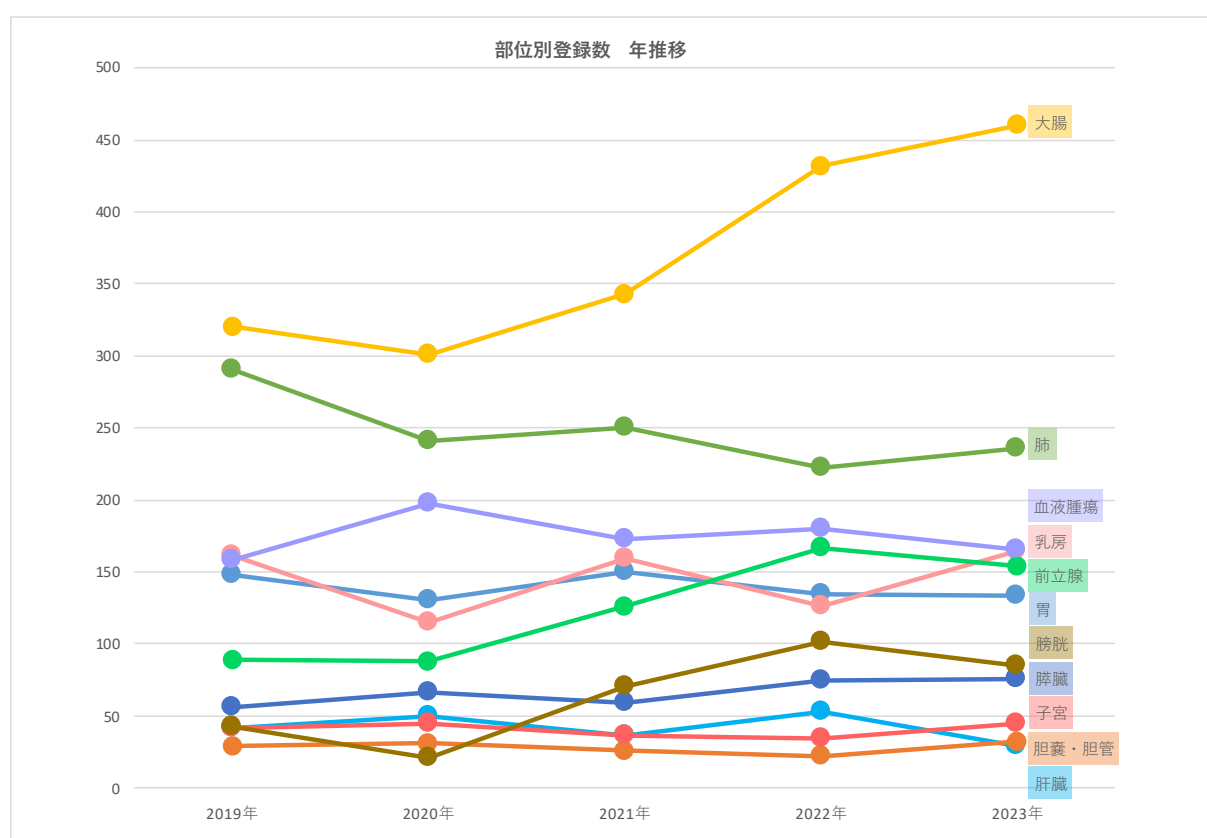
1-3.部位別登録件数の割合（2019 年～2023 年）



大腸がんの割合が、年々増加傾向にある。

1-4.部位別登録件数の年次推移（2019年～2023年）

部位 / 診断年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	148	130	150	135	134
大腸（結腸・直腸）	320	301	343	432	460
肝臓	42	50	36	53	29
胆嚢・胆管	29	31	26	22	32
膵臓	56	66	59	75	76
肺	291	241	250	222	236
乳房	161	115	159	126	165
前立腺	89	88	126	167	154
子宮	42	45	36	34	45
膀胱	43	21	71	101	85
血液腫瘍	158	198	173	180	166



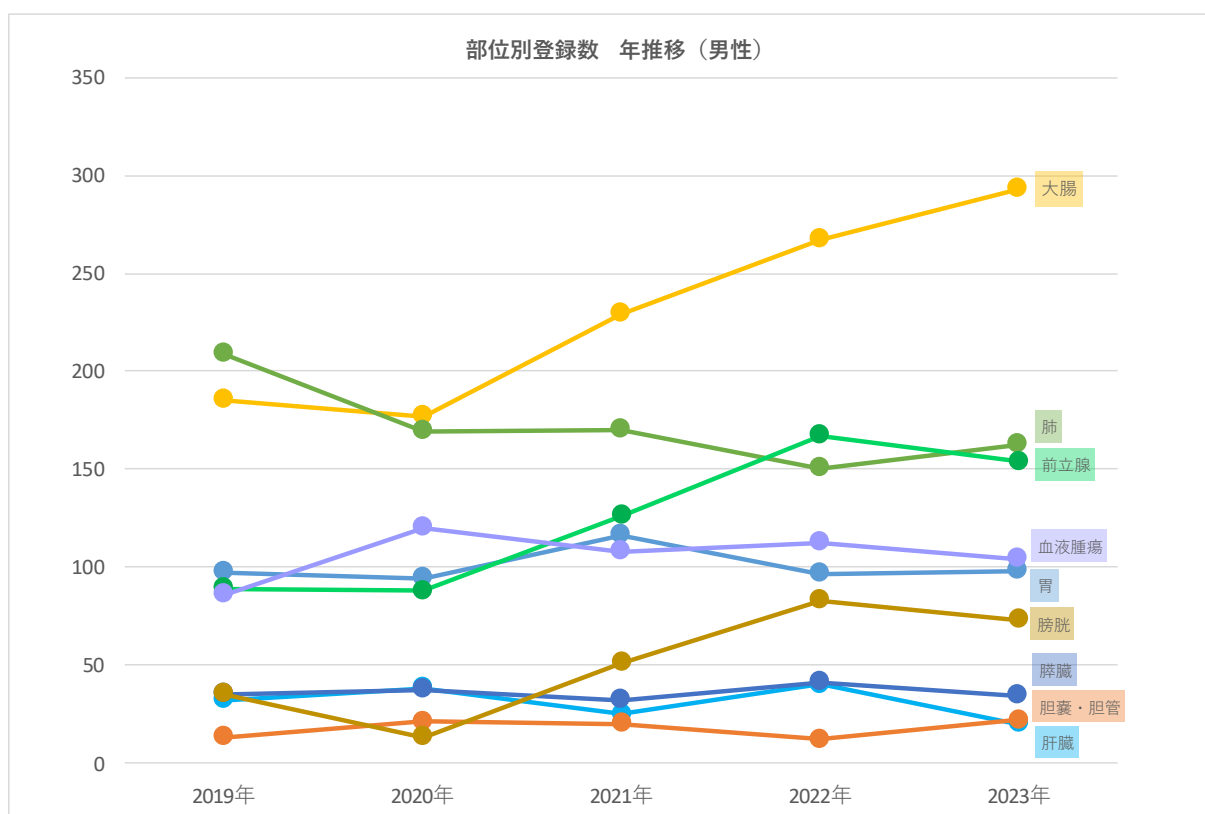
大腸がんがもっとも多く、肺がん、造血器腫瘍(白血病・悪性リンパ腫など)とつづく。
前立腺がん、膀胱癌が年々増加傾向にある。

参考：国立がん研究センターホームページ [がん統計](#) [がん種別統計情報](#)

1-5.部位別登録件数の年次推移（男女別）

【男性】（2019 年～2023 年）

部位 / 診断年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	97	94	116	96	98
大腸（結腸・直腸）	185	177	229	267	293
肝臓	32	38	25	40	20
胆嚢・胆管	13	21	20	12	22
膵臓	35	37	32	41	34
肺	209	169	170	150	162
乳房	0	0	0	0	0
前立腺	89	88	126	167	154
膀胱	35	13	51	83	73
血液腫瘍	86	120	108	112	104

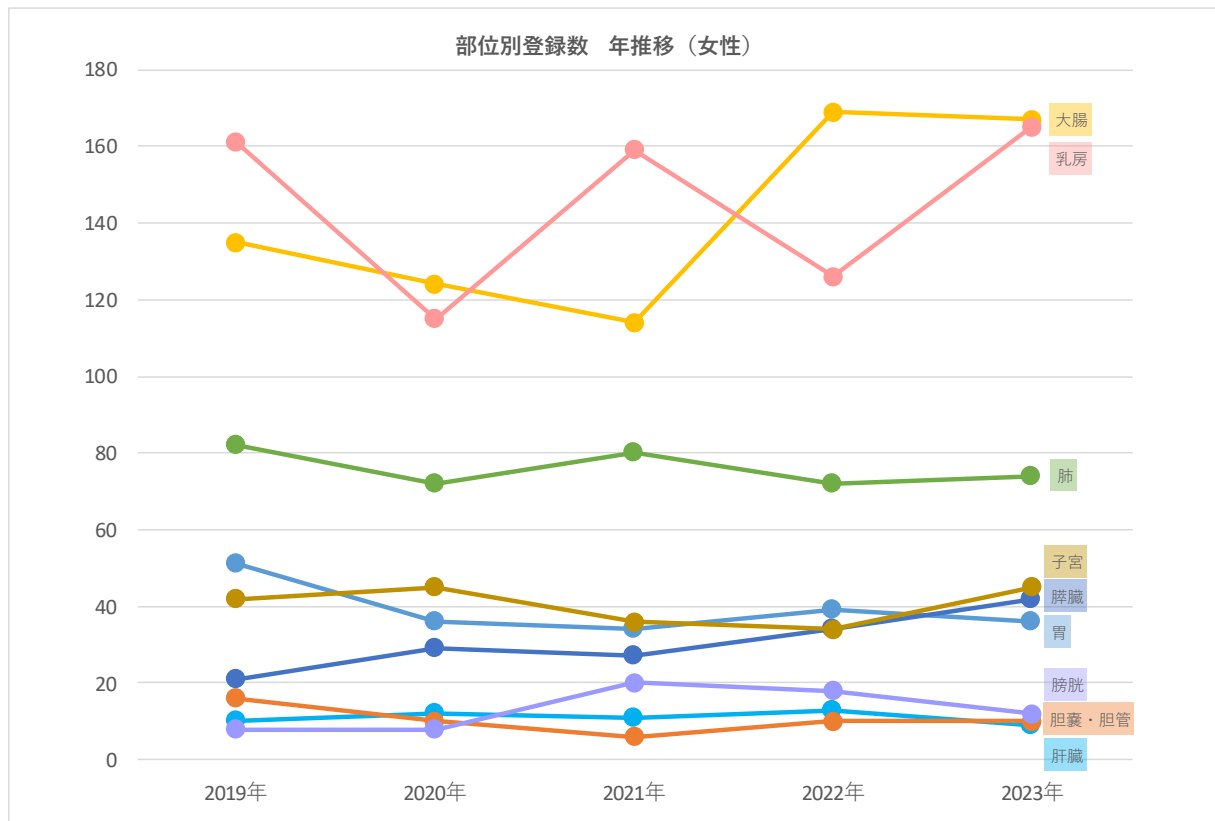


男性では大腸がんが特に多く、年々増加傾向。

前立腺がん、膀胱がんは泌尿器科医師の増員の影響もあり、5 年間で件数が増加した。

【女性】（2019 年～2023 年）

部位 / 診断年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	51	36	34	39	36
大腸（結腸・直腸）	135	124	114	169	167
肝臓	10	12	11	13	9
胆嚢・胆管	16	10	6	10	10
脾臓	21	29	27	34	42
肺	82	72	80	72	74
乳房	161	115	159	126	165
子宮	42	45	36	34	45
膀胱	8	8	20	18	12
血液腫瘍	72	78	65	68	62

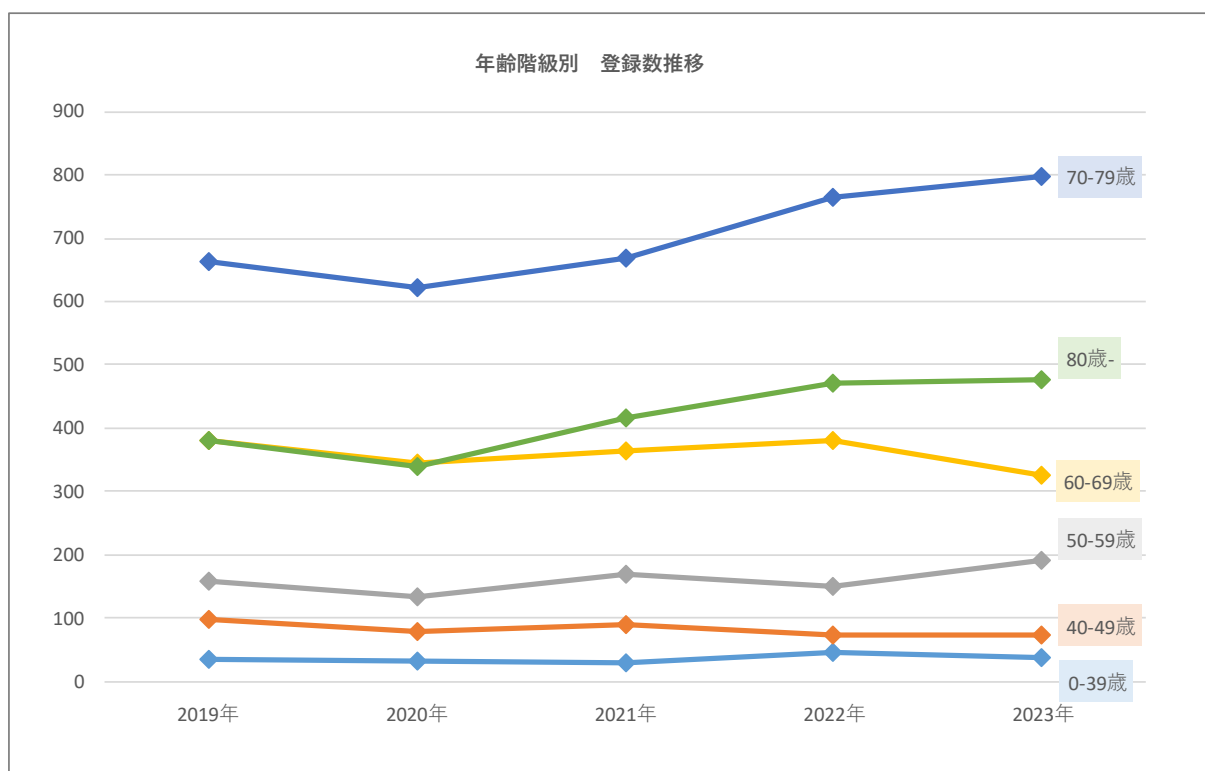


女性では乳がん、大腸がんが多い。

2.年齢の割合

2-1.年齢 6 階級別登録数の年次推移（2019 年～2023 年）

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
全体	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	36	(2.1%)	31	(2.0%)	29	(1.7%)	47	(2.5%)	38	(2.0%)
40-49歳	97	(5.6%)	80	(5.2%)	89	(5.1%)	74	(3.9%)	73	(3.8%)
50-59歳	159	(9.3%)	133	(8.6%)	169	(9.7%)	151	(8.0%)	191	(10.0%)
60-69歳	382	(22.2%)	346	(22.3%)	364	(21.0%)	382	(20.2%)	325	(17.1%)
70-79歳	663	(38.6%)	621	(40.1%)	668	(38.5%)	766	(40.5%)	797	(41.9%)
80歳-	380	(22.1%)	339	(21.9%)	416	(24.0%)	472	(24.9%)	478	(25.1%)

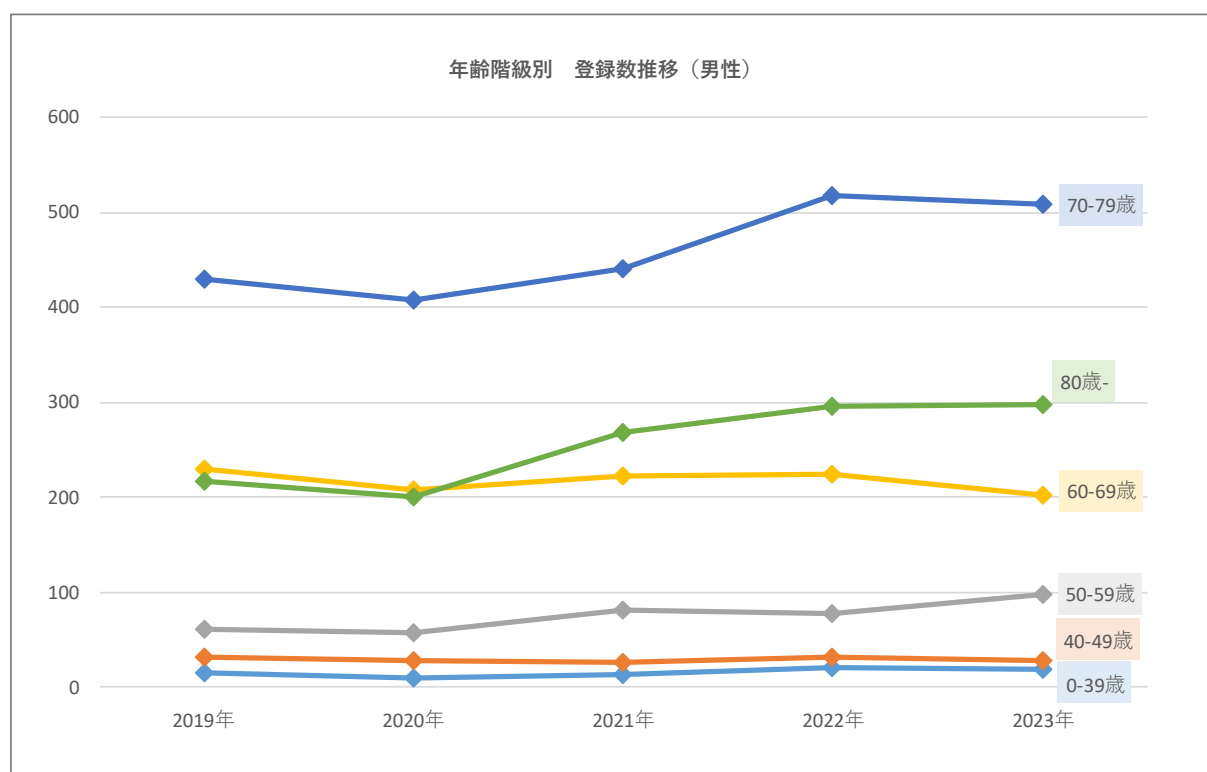


70 歳代が増加傾向で、全体の 4 割を占める。

2-2.男女別年齢 6 階級別登録数の年次推移

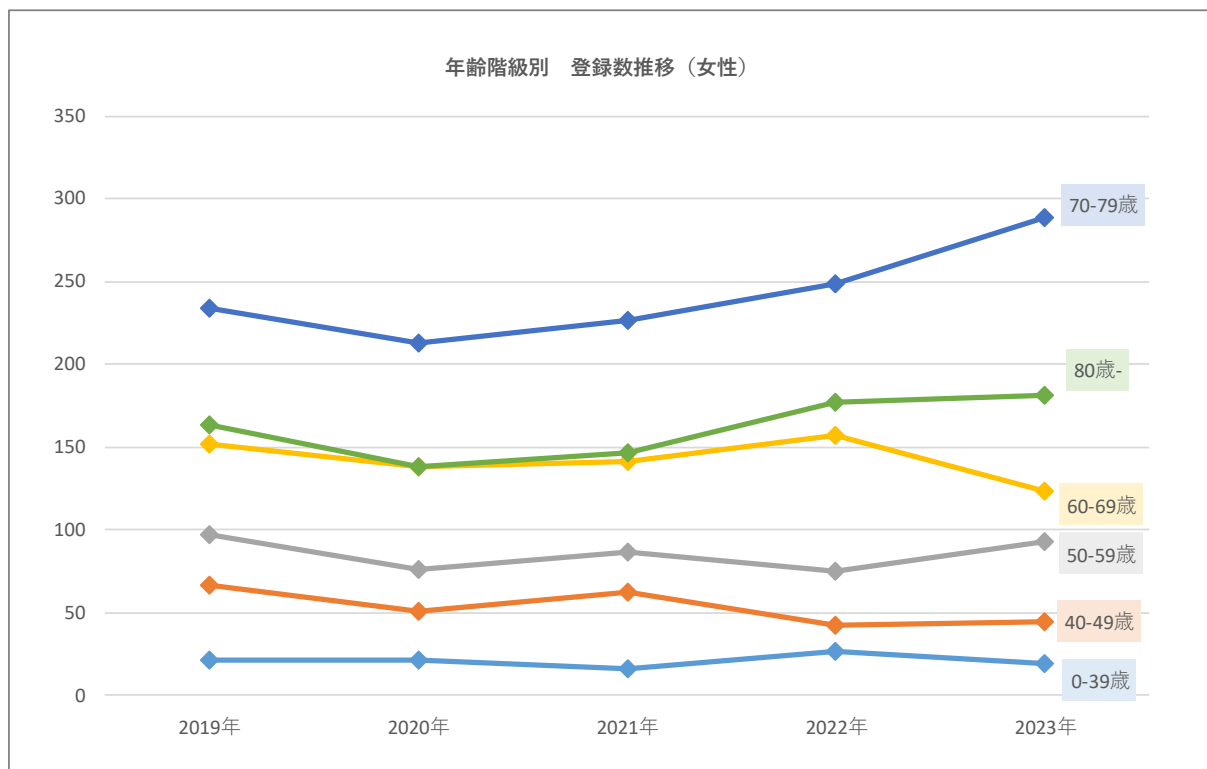
【男性】（2019 年～2023 年）

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	15	(1.5%)	10	(1.1%)	13	(1.2%)	21	(1.8%)	19	(1.6%)
40-49歳	31	(3.2%)	29	(3.2%)	27	(2.6%)	32	(2.7%)	29	(2.5%)
50-59歳	62	(6.3%)	57	(6.2%)	82	(7.8%)	77	(6.6%)	98	(8.5%)
60-69歳	230	(23.4%)	208	(22.8%)	223	(21.1%)	224	(19.2%)	202	(17.5%)
70-79歳	429	(43.6%)	408	(44.7%)	441	(41.8%)	517	(44.3%)	508	(44.1%)
80歳-	217	(22.1%)	201	(22.0%)	269	(25.5%)	295	(25.3%)	297	(25.8%)



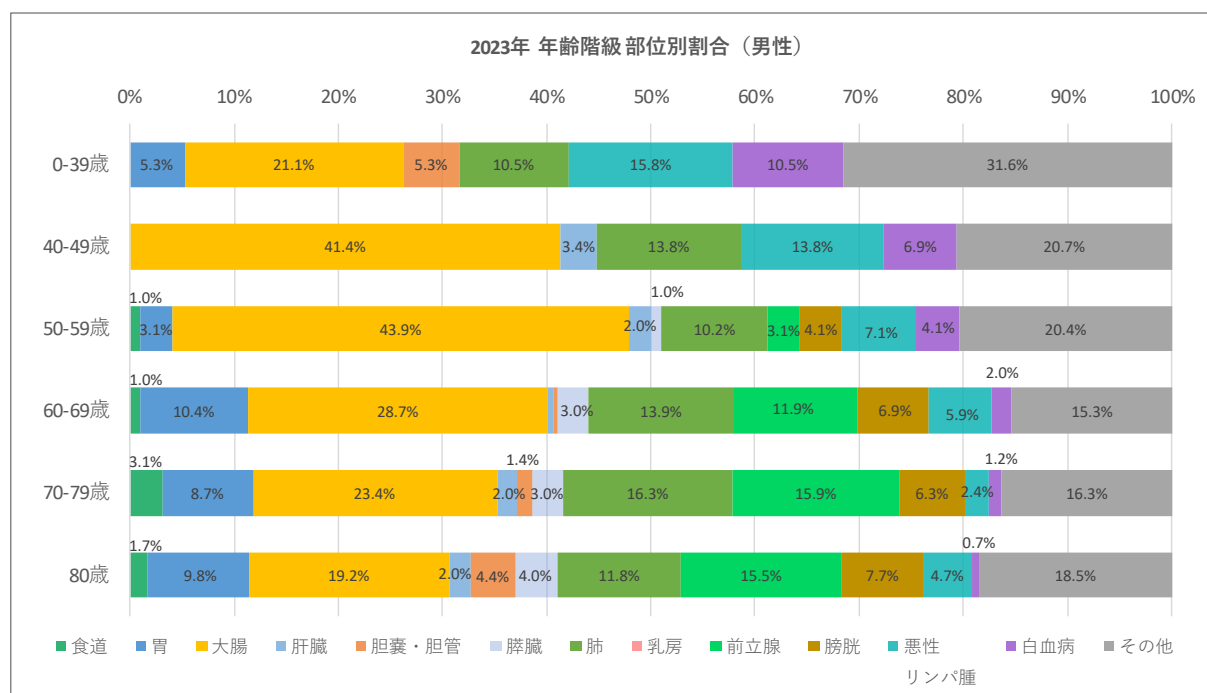
【女性】（2019 年～2023 年）

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	21	(2.9%)	21	(3.3%)	16	(2.4%)	26	(3.6%)	19	(2.5%)
40-49歳	66	(9.0%)	51	(8.0%)	62	(9.1%)	42	(5.8%)	44	(5.9%)
50-59歳	97	(13.2%)	76	(11.9%)	87	(12.8%)	75	(10.3%)	93	(12.4%)
60-69歳	152	(20.7%)	138	(21.7%)	141	(20.7%)	157	(21.6%)	123	(16.4%)
70-79歳	234	(31.9%)	213	(33.4%)	227	(33.4%)	249	(34.3%)	289	(38.6%)
80歳-	163	(22.2%)	138	(21.7%)	147	(21.6%)	177	(24.4%)	181	(24.2%)



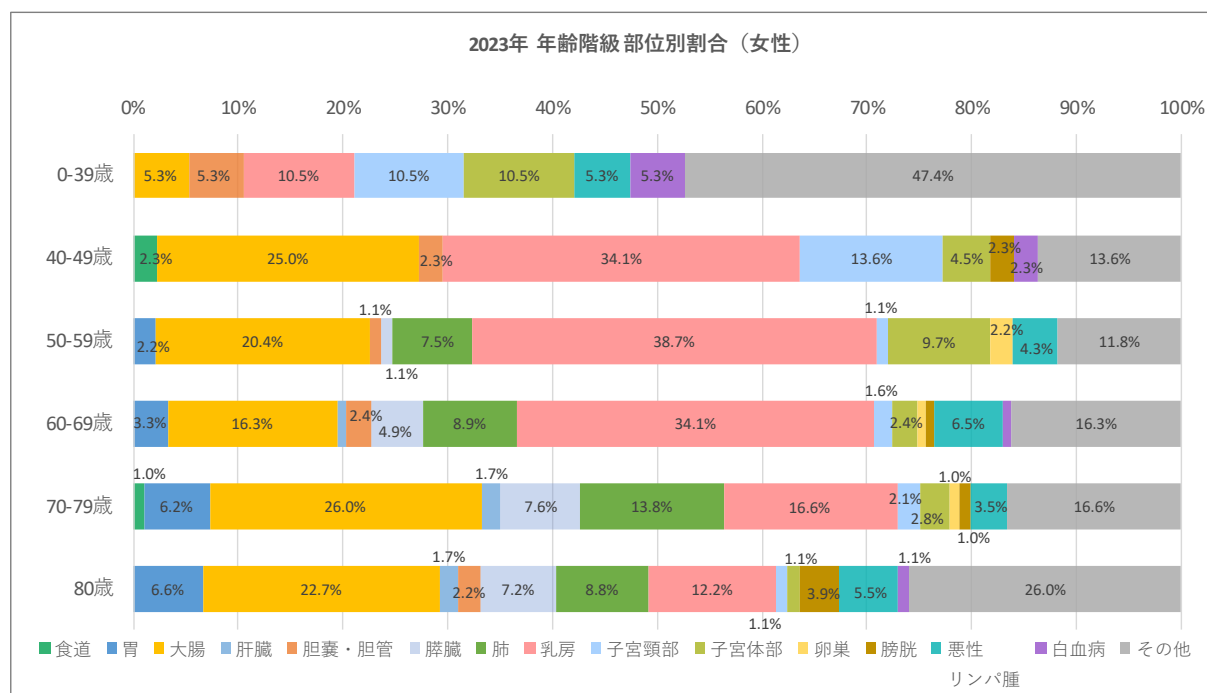
2-3.部位別年齢 6 階級別登録数（2023 年）

【男性】



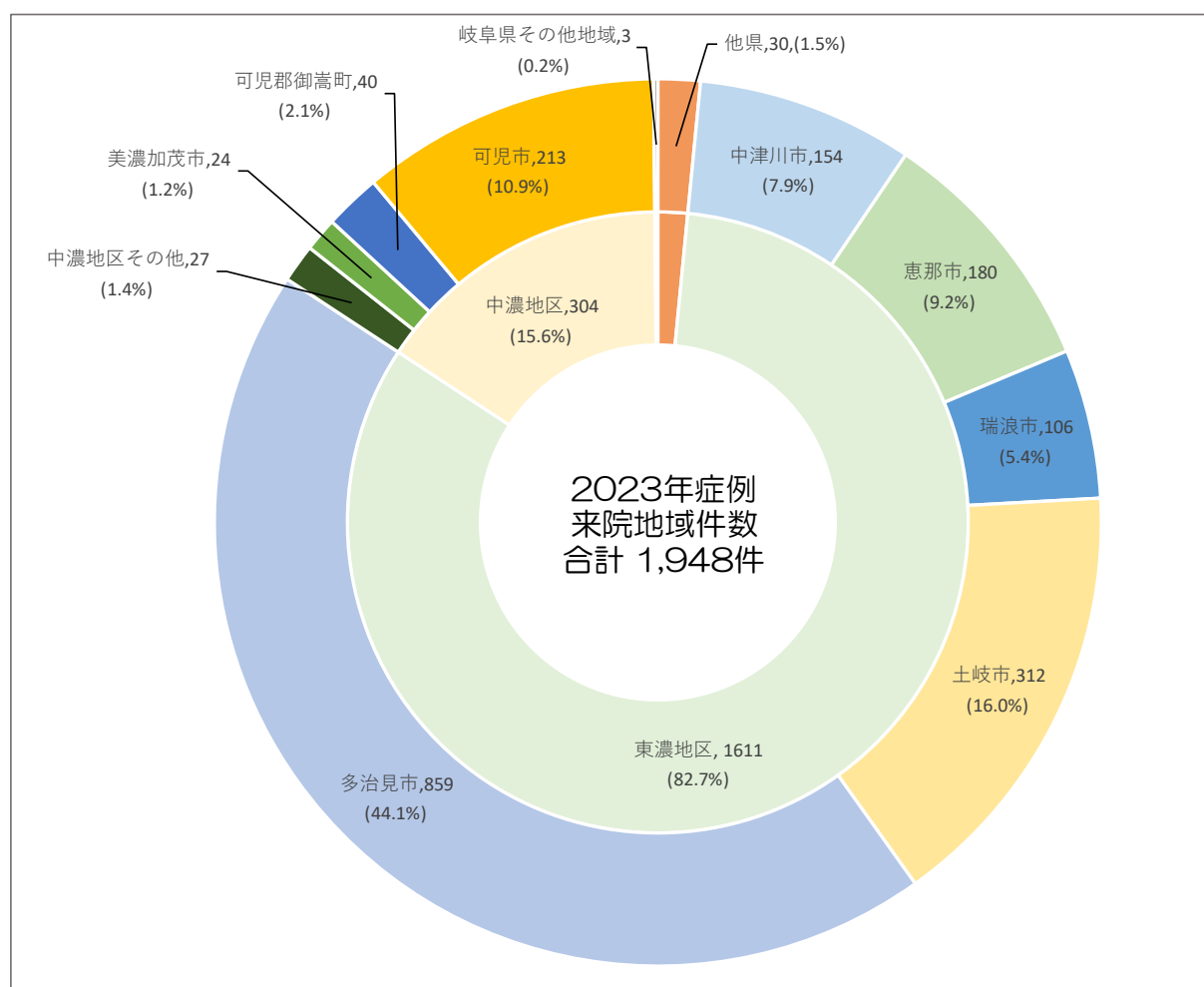
男性においては、0-39 歳代（AYA 世代）は悪性リンパ腫、白血病といった造血器腫瘍の割合が全体の 3 割を占める。前立腺がんは 50 歳代から増加傾向。

【女性】



女性においては、40、50、60 歳代の乳がんの割合が多い。大腸がんは 40 歳代から増加傾向。

3.診断時住所別集計（2023 年）



二次医療圏である東濃地区が 82.7% を占める。可児市は中濃地区だが、多治見市と隣接しているため、受診が多くみられる。

〈二次医療圏について〉

厚生労働省が医療法にもとづき、地理的なつながりや交通事情などを考慮して、一定のエリアごとに定め、複数の市町村を一つの単位としています。岐阜県は、岐阜圏域、西濃圏域、中濃圏域、東濃圏域、飛騨圏域の 5 つのエリアに区分され、そのうち東濃圏域は、多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市が該当します。（2023 年現在）

4.TNM 病期分類（ステージ）集計 院内がん登録 2023 年症例集計

（UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第 8 版・原発性肝臓癌取り扱い規約 第 6 版）

集計条件：当院で初回治療開始した症例(症例区分「20」「30」)

かつ、主に上皮性のがん（肺のみ一部カルチノイドを含む）

4-1.治療前ステージ：CT などの画像検査等で診断した臨床ステージ

cTNM	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明
胃		62	8	20	23	3
大腸	92	45	19	62	35	164
乳房	4	55	31	5	7	2
肺	0	90	14	29	60	1
肝臓		9	2	4	5	0

取扱規約	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	該当せず
肝臓		2	8	3	6	1

※取扱規約が普及している
肝臓は別に集計。

4-2.術後病理学的ステージ：手術後の病理診断のステージ（手術未施行は含まれない）。

治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる。

pTNM	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV
胃		55	6	10	5
大腸	255	40	40	28	11
乳房	5	58	21	7	1
肺	0	55	6	5	2
肝臓		3	0	1	1

取扱規約	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV
肝臓		1	2	0	2

4-3.総合ステージ：手術を施行した場合には「4-2.術後病理学的ステージ」、手術を未施行の

場合には「4-1.治療前ステージ」を用いて診断したステージ。

UICC	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明
胃		63	8	17	28	0
大腸	255	44	43	40	35	0
乳房	6	59	25	7	7	0
肺	0	88	12	32	62	0
肝臓		8	1	5	6	0

取扱規約	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	該当せず
肝臓		2	8	3	6	1

「病院指標」の「3.初発の 5 大癌の UICC 病期分類並びに再発患者数」とは、異なる集計対象、集計方法のため、集計結果も異なります。 [初発の 5 大癌の UICC 病期分類並びに再発患者数](#)

《病期(ステージ)について》

病期(ステージ)とは、がんの進行程度を知るための指標で、院内がん登録では、UICC TNM 分類を使用しデータ収集を行います。

各ステージの分類については部位ごとで異なりますが、がんの深達度、周囲組織への広がり(浸潤度)、リンパ節への転移、その他の臓器などへの遠隔転移により分類します。病期は大きく 0～Ⅳ期の 5 つに分類し、0 期に近いほどがんが小さくとどまっている状態、Ⅳ期に近いほどがんが広がっている状態(進行がん)です